

ROAD WORKS REPORT

■問合先／建設課 (☎ 58-5111・75-3111 代表)



トンネル入り口部分を上空から撮影



トンネル入り口に設置された防音扉



岩盤へ孔を開ける作業などに使用する特殊機械「ドリルジャンボ」

(仮称) 上曽トンネル 本体工事



火薬を詰める孔を開ける

現在、トンネル坑口には防音扉が設置され、約93mの地点(5月10日現在)まで掘削が進んでいます。
硬い岩を砕くため「ドリルジャンボ」などの特殊機械や火薬を使用し少しずつ掘り進めながら、一定間隔で鉄製の枠を設置します。さらにコンクリートを岩に吹き付け4mの鉄の棒(ロックボルト)を突き刺して岩を補強します。本体工事は、これらの作業を繰り返し、トンネル全長3,538mのうち約1,600m(桜川工区)を令和4年9月までに完了する予定です。
その後、トンネル設備工事・取付道路整備工事と進め、令和7年度の開通を目指して整備を行っていきます。



国道50号の4車線化 令和7年春の開通を目指し進行中

現在、北関東自動車道桜川筑西IC(インターチェンジ)に直結する国道50号の4車線化拡幅事業が、令和7年春の開通予定(用地取得が順調に進んだ場合)に向け、改良工事や用地買収などが進められています。
国道50号の4車線化は、長方地区から中泉地区までの

1. 2km区間の現道拡幅事業です。国道50号と北関東自動車道桜川筑西ICとの連携強化、開発が予定されている桜川筑西IC周辺地区整備計画により増加が見込まれる交通量に対応するため、国道50号の幹線道路としての機能を強化し、広域的に円滑な交通の確保を目的としています。